

令和5年 5月 31日(水) 第1回大田区地域福祉計画推進会議

## 区の現況

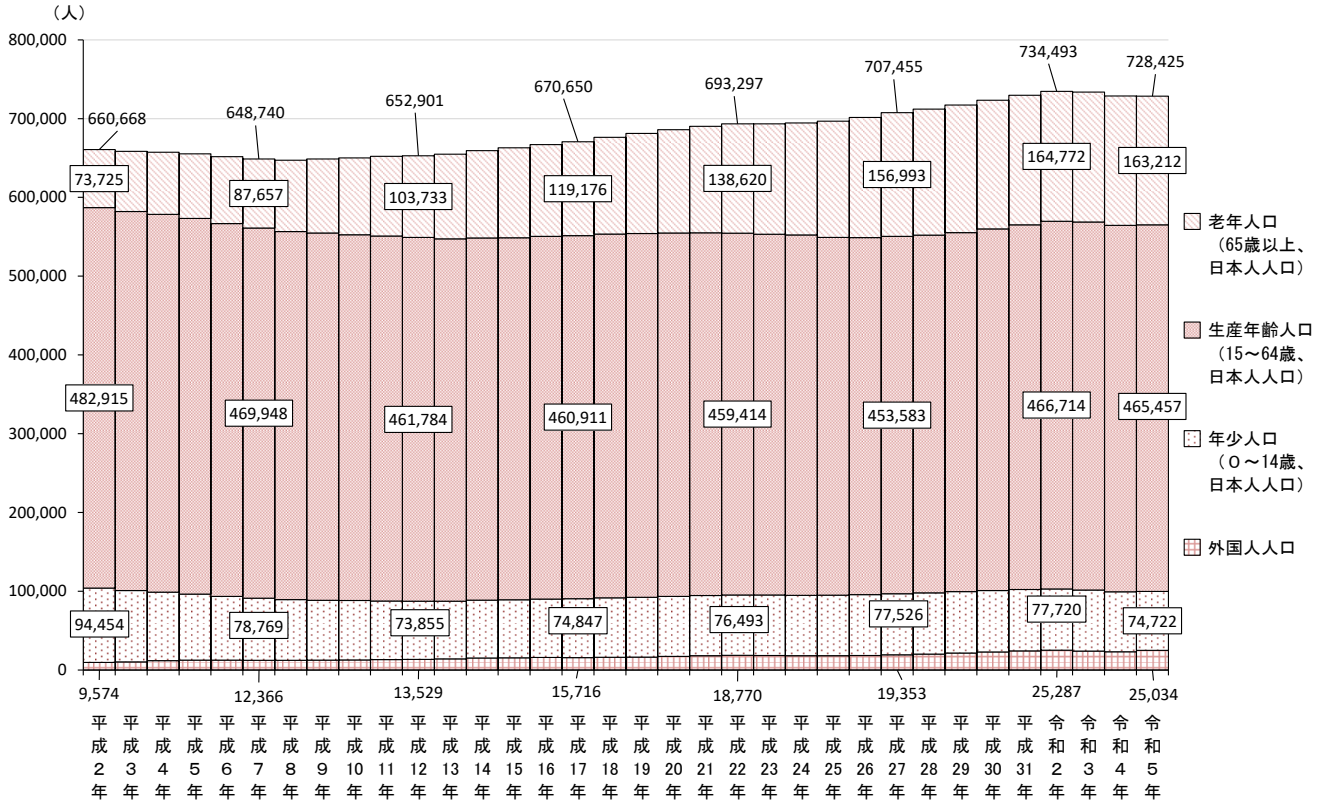
大田区福祉管理課調整担当（計画）

## 人口・世帯の状況

### ★年齢3区分人口の推移

大田区の人口は、平成8年以降増加傾向にあったが、令和2年から直近にかけて減少傾向となっている。

図 1 大田区の年齢3区分人口の推移



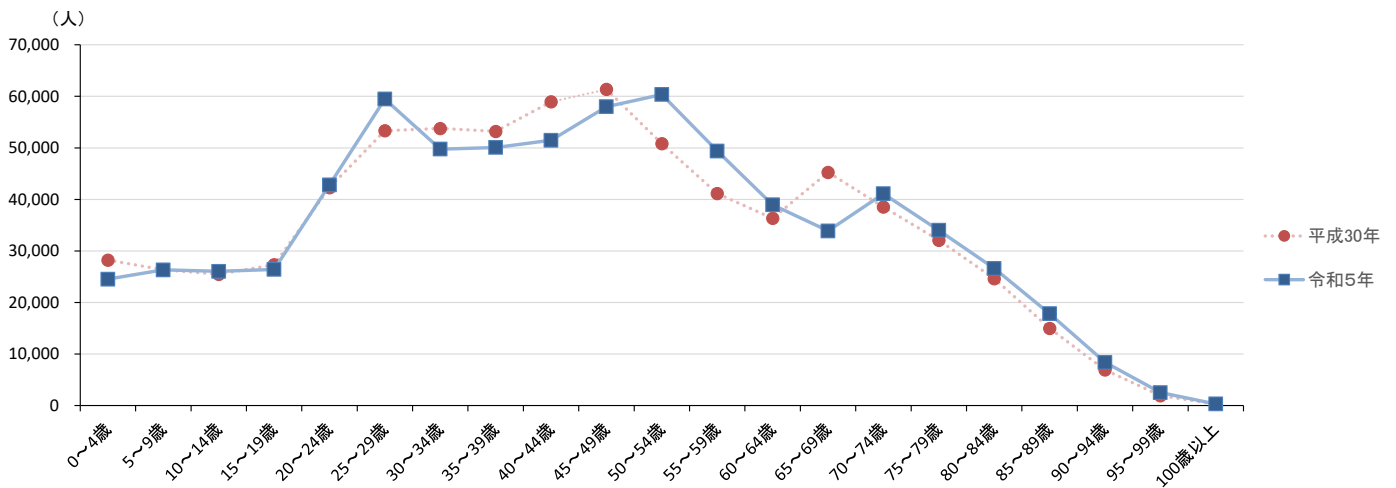
※各年1月1日時点

出典：東京都「住民基本台帳による東京都の世帯と人口 時系列データ 第9表」、「外国人人口 昭和54年からの時系列データ」

### ★年齢5歳階層別の人口

年齢5歳階層別の人口を平成30年と令和5年とで比較すると、人口が最も多い年齢層が令和5年には50~54歳となるなど、全体的に高齢化が進んでいる。また、25~29歳の層は大きく増加している。

図 2 大田区の年齢5歳階層別の人口（平成30年・令和5年）



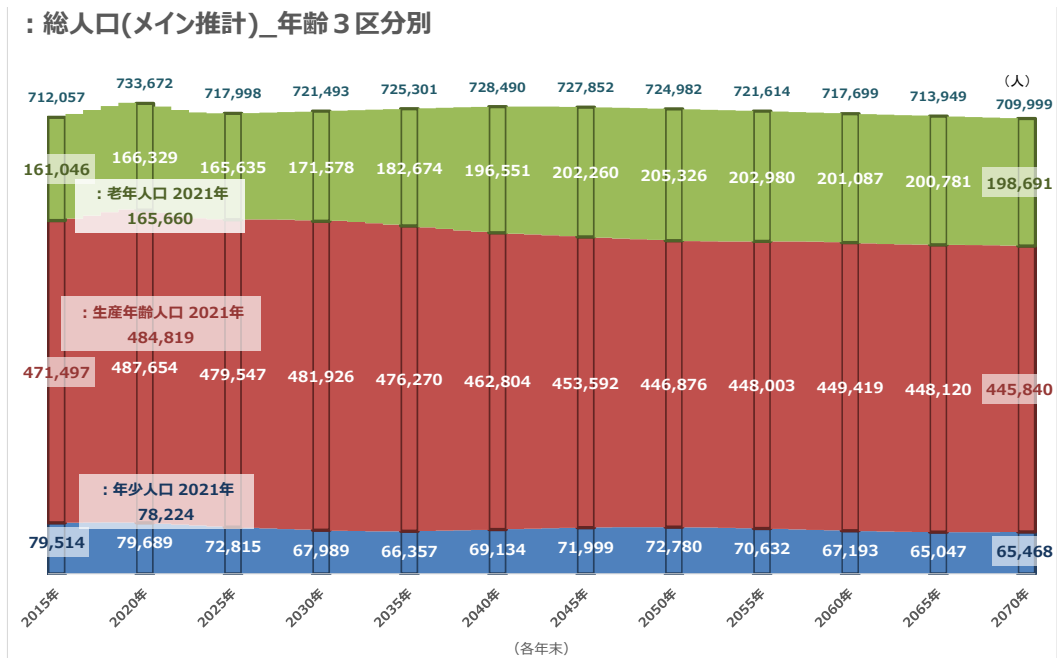
※各年1月1日時点

出典：東京都「住民基本台帳による東京都の世帯と人口」

★将来人口推計

大田区の将来人口推計によると、2025年以降、2050年まで老年人口(65歳以上)は増加し続ける一方で、生産年齢人口(15~64歳)は減少し続ける。

図3 大田区の将来人口推計(年齢3区分別)

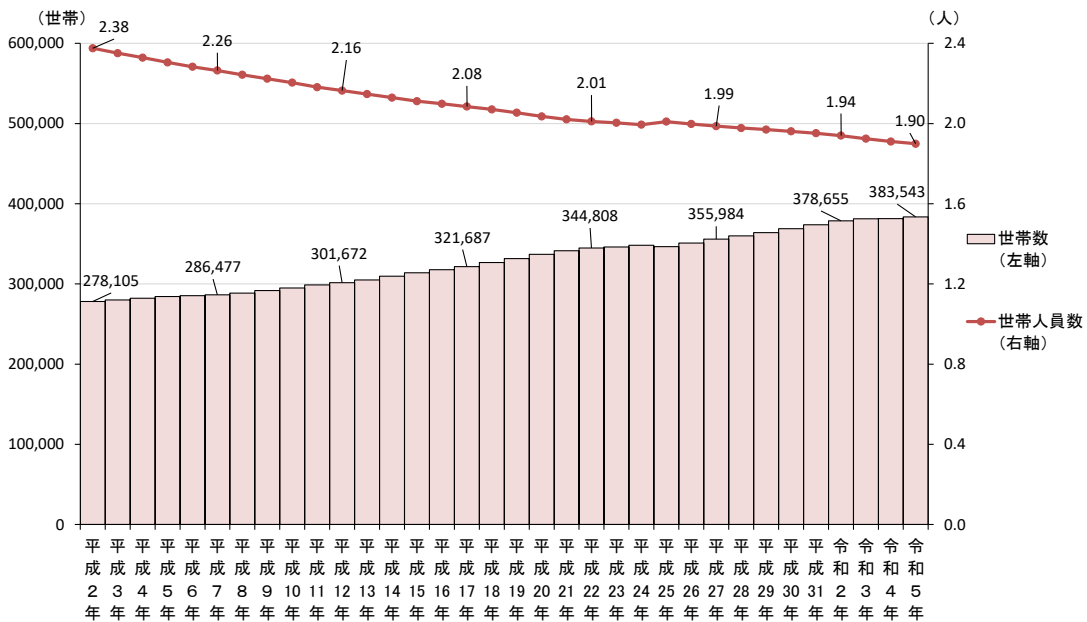


※実績上は2020年以降コロナ禍において社会増減が転出超過へと転じていたが、徐々に転入超過に回復すると仮定した推計。  
出典：大田区人口推計(令和4年3月)

★世帯数および世帯人員数の推移

大田区の世帯数は長期的に増加が続いており、令和5年には383,543世帯となっている。他方で、1世帯当たりの世帯人員数は低下傾向が続いており、令和5年には1.90となっている。

図4 大田区の世帯数および世帯人員数の推移(日本人人口)



※各年1月1日時点

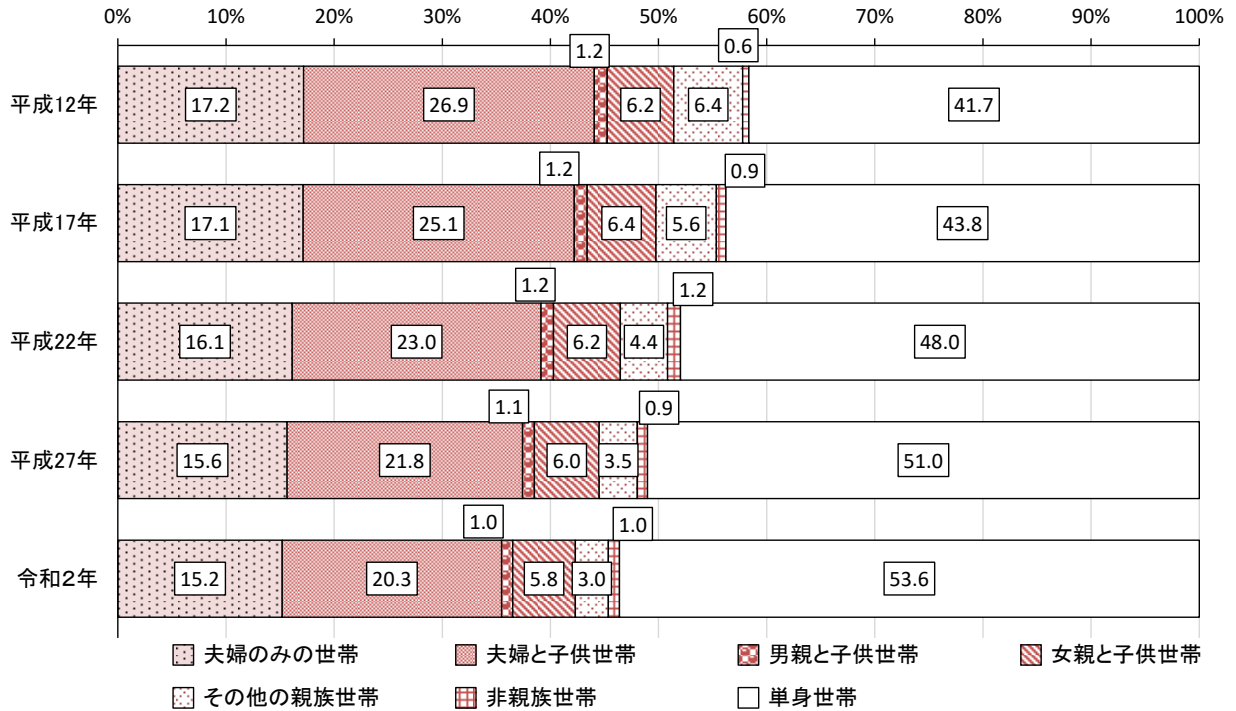
※平成25年以後については、「日本人のみの世帯」を「世帯数」として用い、「人口総数のうち日本人人口」の数を「日本人のみの世帯」の数で除いた数を「世帯人員数」としている。

出典：東京都「住民基本台帳による東京都の世帯と人口 時系列データ 第1表・第9表」

★世帯構成の推移

大田区の世帯構成について経年変化をみると、単身世帯の割合が上昇を続けている。

図5 大田区の世帯構成の推移



※各年10月1日時点

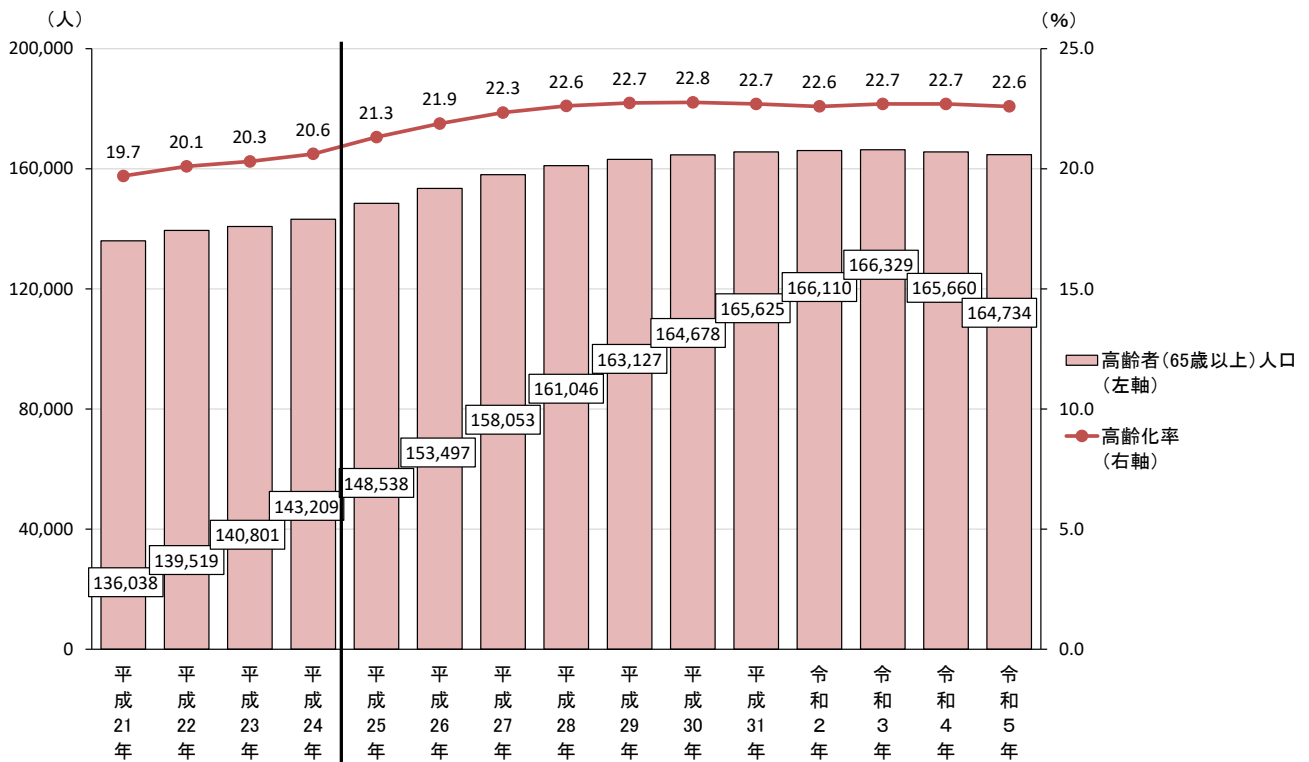
出典：総務省統計局「国勢調査結果」

## 高齢者に関する状況

### ★高齢者人口と高齢化率の推移

大田区の人口について、高齢者(65歳以上)に着目すると、令和3年まで増加が続いていたが、直近の令和5年では微減し167,734人となっている。高齢化率(総人口に占める高齢者の割合)については、平成28年以降変化はみられない。

図 6 大田区の高齢者人口と高齢化率の推移



※各年1月1日時点

※平成25年以降は外国人を含む。

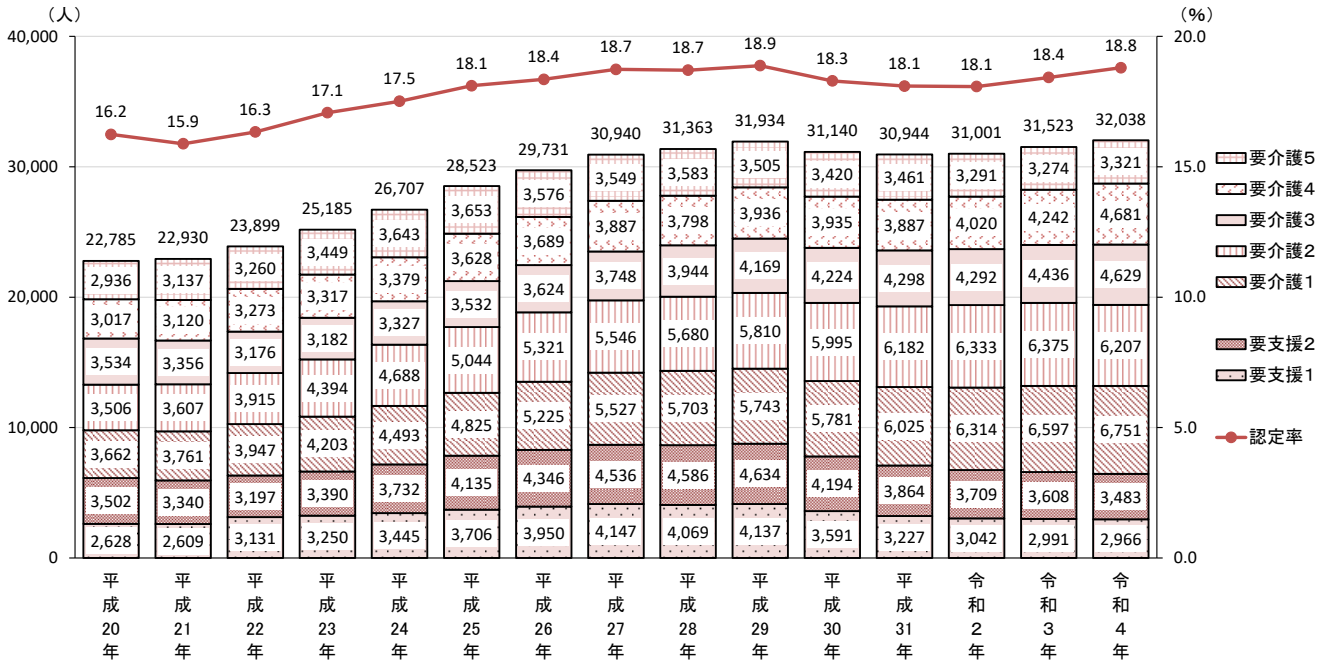
出典:住民基本台帳

★要支援・要介護認定者数、認定率(65歳以上)の推移

高齢者のうち要支援・要介護に認定されている方の数を見ると、平成29年まで続いていた増加傾向が平成31年にかけて減少したものの、直近の令和4年にかけて再び増加している。認定率(65歳以上人口に占める認定者数の割合)も、同様の傾向となっている。

内訳を見ると、要支援の方は減少しているが、要介護の方が増加している。

図7 大田区の要介護・要支援認定者数と認定率の推移



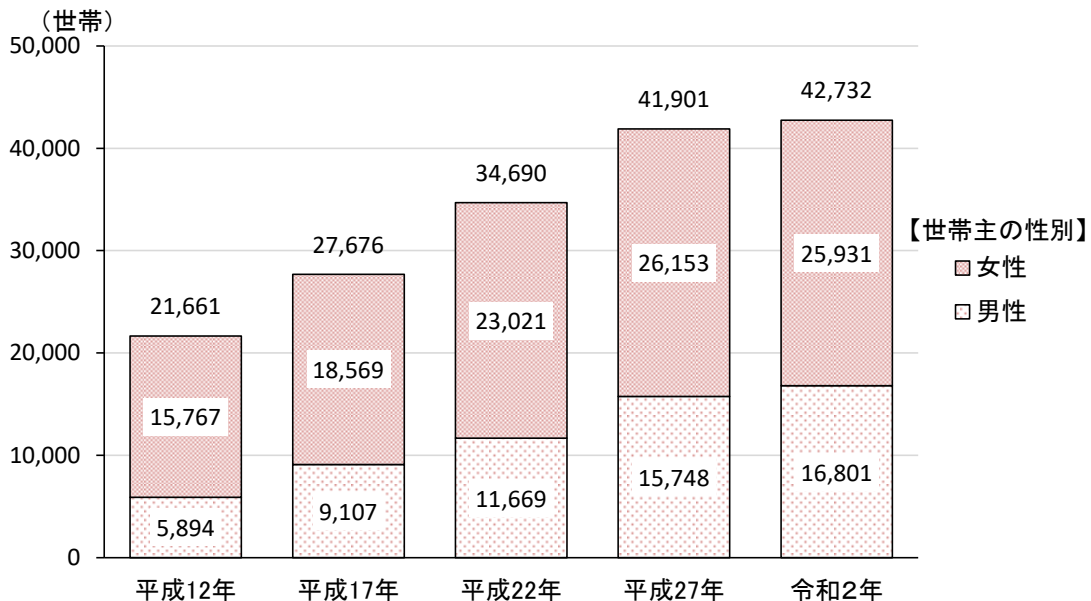
※各年9月末時点

出典:東京都福祉保健局「介護保険事業状況報告」

★65歳以上単身世帯数の推移

大田区において65歳以上の方が単身で暮らしている世帯の数の推移を見ると、増加傾向が続いており、令和2年には47,732世帯となっている。うち世帯主が男性の世帯数は、16,801世帯となっている。

図8 大田区の65歳以上単身世帯数の推移



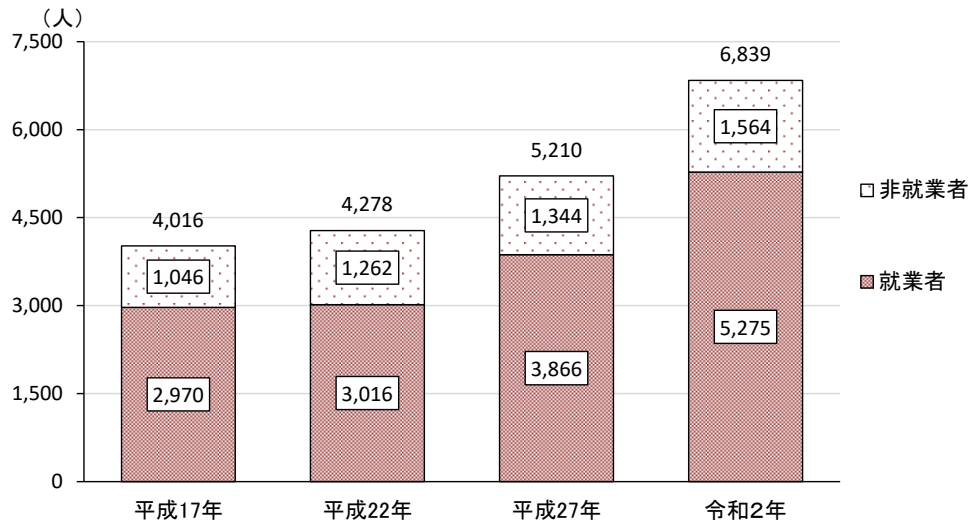
※各年10月1日時点

出典:総務省統計局「国勢調査結果」

### ★親と同居している未婚の50代

大田区内で親と同居している未婚の50代の方の数の推移をみると、平成22年から大きく増加しており、令和2年には6,839人となっている。内訳をみると、平成22年から就業者は約1.7倍、非就業者は約1.24倍となっている。

図9 親と同居している未婚の50代の大田区在住者の推移



※各年10月1日時点

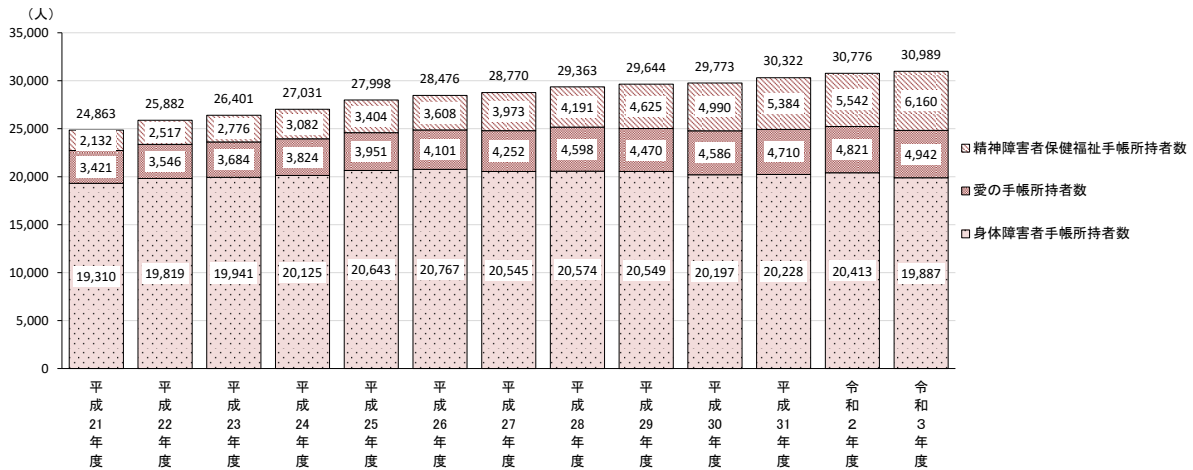
出典：総務省統計局「国勢調査結果」

## 障がい者に関する状況

### ★障害者手帳等所持者数の推移

大田区の障害者手帳等所持者数の推移をみると、身体障害者手帳所持者は20,000人程度で安定的に推移しているが、精神障害者保健福祉手帳・愛の手帳の所持者が増加傾向にあり、直近の令和3年度にはそれぞれ6,160人・4,942人となっている。

図10 大田区の障害者手帳等所持者数の推移



※各年度3月31日時点

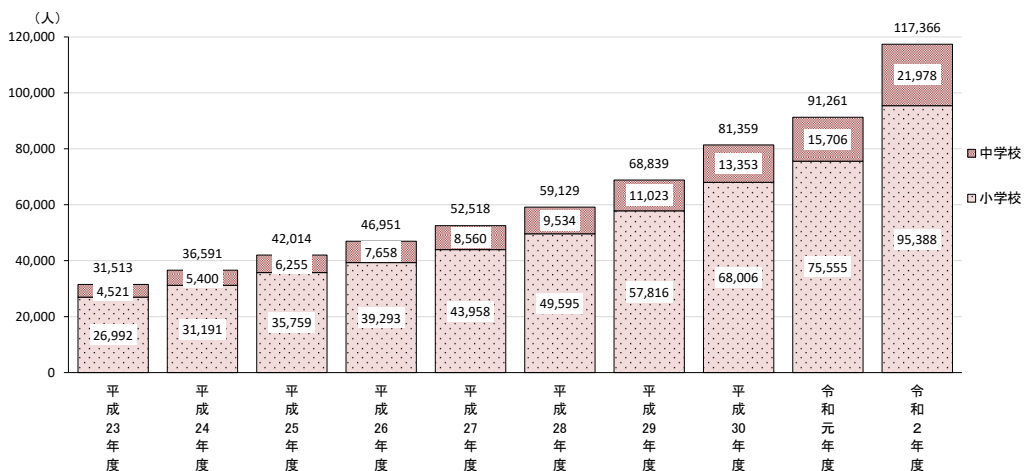
出典：現行計画、大田区「大田区政ファイル」

### ★発達障がいと診断された者の推計数、通級による指導を受ける発達障がいの児童生徒数の推移(全国)

厚生労働省「平成28年生活のしづらさなどに関する調査」によると、発達障がいと診断された者の数は全国で481,000人と推計される(全年齢層合計)。

また、文部科学省資料によると、全国の通級による指導を受けている発達障がいの児童生徒数の推移をみると、過去10年間で増加し続けており、直近の令和2年度には小学校が95,388人、中学校が21,978人となっている。

図11 全国の通級による指導を受けている発達障がいの児童生徒数の推移



※各年度5月1日時点

※国公立合計

※「自閉症」「情緒障害」「学習障害」「注意欠陥多動性障害」として掲載されている数値の合計。ただし、発達障がいの範囲についてはこれに限られない点には留意が必要。(参考：[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/tokubetu/main/002.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/main/002.htm))

出典：文部科学省「特別支援教育資料」

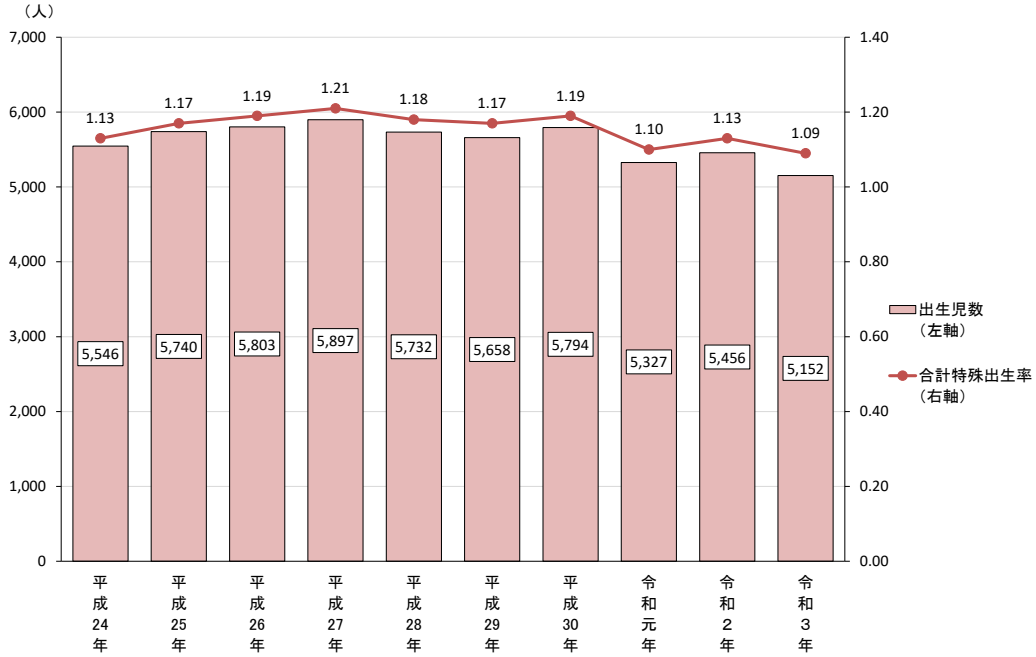


## 子ども・教育に関する状況

### ★出生数・合計特殊出生率の推移

大田区の出生数・合計特殊出生率の推移をみると、平成31年以降低下しており、直近の令和3年には出生数が5,152人、合計特殊出生率が1.09となっている。

図12 大田区の出生数・合計特殊出生率の推移



出典:東京都福祉保健局「人口動態統計」

### ★0～5歳の子どもの数の推移

大田区の0～5歳の子どもの数の推移をみると、平成31年度まで徐々に増加していたがその後減少傾向となっており、直近の令和5年には29,654人となっている。

図13 大田区の0～5歳の子どもの数の推移



※各年1月1日時点

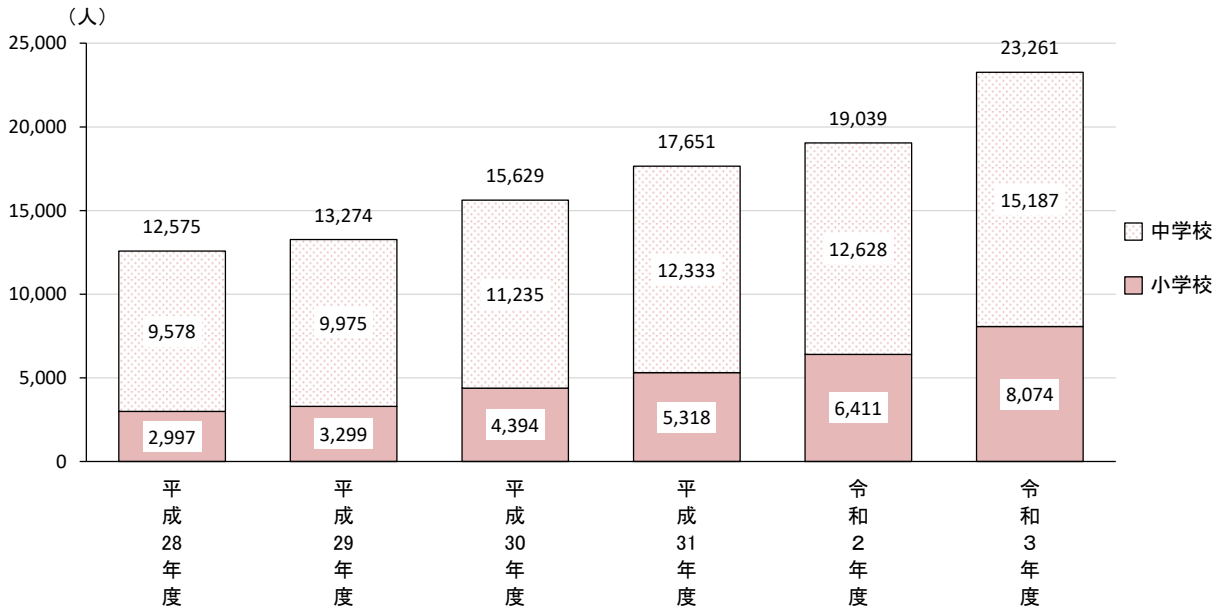
※平成25年以降は外国人を含む。

出典:大田区「年齢別人口報告資料(日本人+外国人)」

★不登校児童・生徒数の推移(東京都)

東京都の不登校児童・生徒数の推移をみると、小学校・中学校ともに増加が続いており、直近の令和3年度には23,261人となっている。また、平成28年度以降の年度間の増加数は、令和2～3年度が最も多い。

図 14 東京都の不登校児童・生徒数の推移

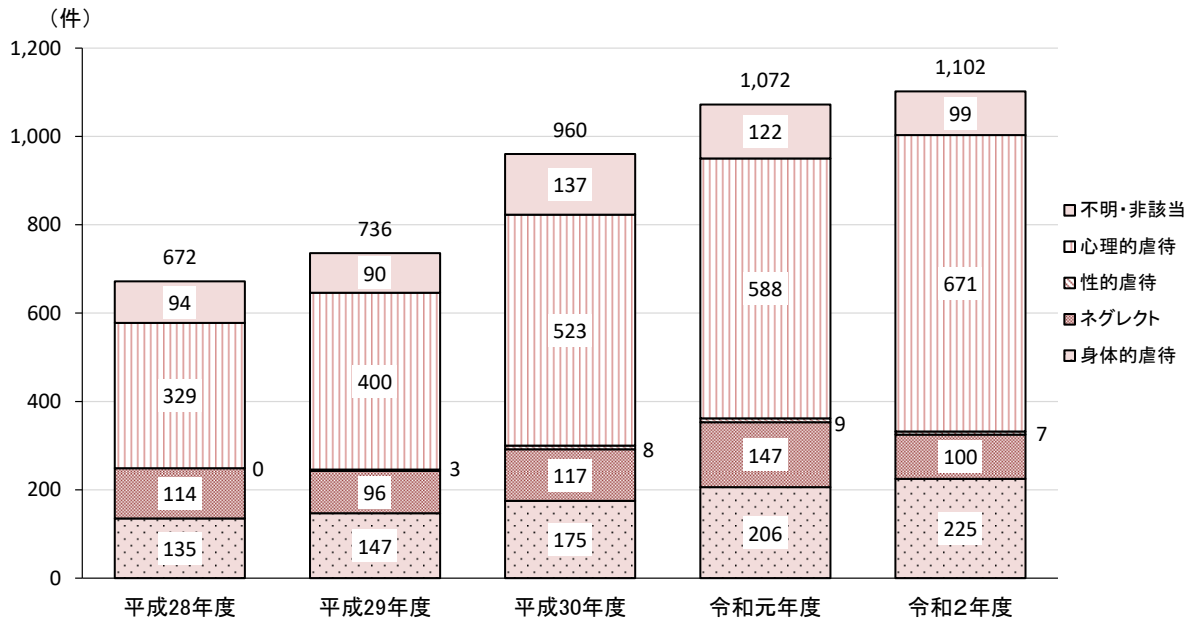


出典: 文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

★児童相談所の虐待相談件数の推移

品川児童相談所が受けた虐待相談のうち、大田区内から受けた件数の推移をみると、年々増加傾向にあり、直近の令和2年度には1,102件となっている。

図 15 児童相談所の虐待相談件数の推移

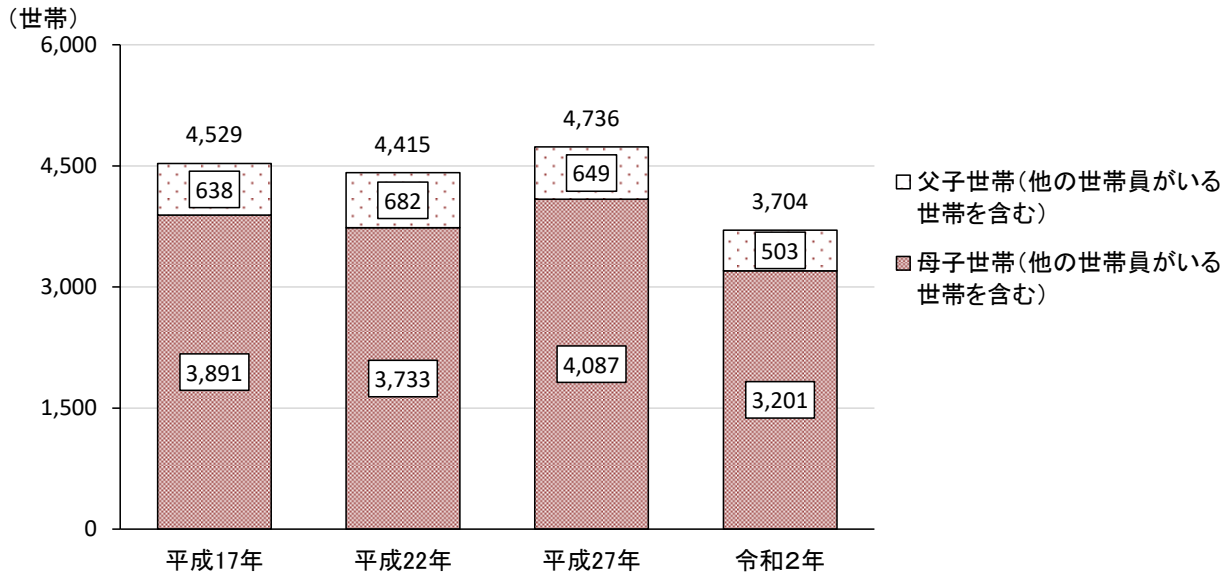


※品川児童相談所の虐待相談のうち、大田区内からの虐待相談の件数  
出典: 大田区調べ

### ★ひとり親世帯数の推移

大田区のひとり親世帯数の推移をみると、平成27年から令和2年にかけて大きく減少しており、3,704世帯となっている。

図 16 大田区のひとり親世帯数の推移



※各年10月1日時点

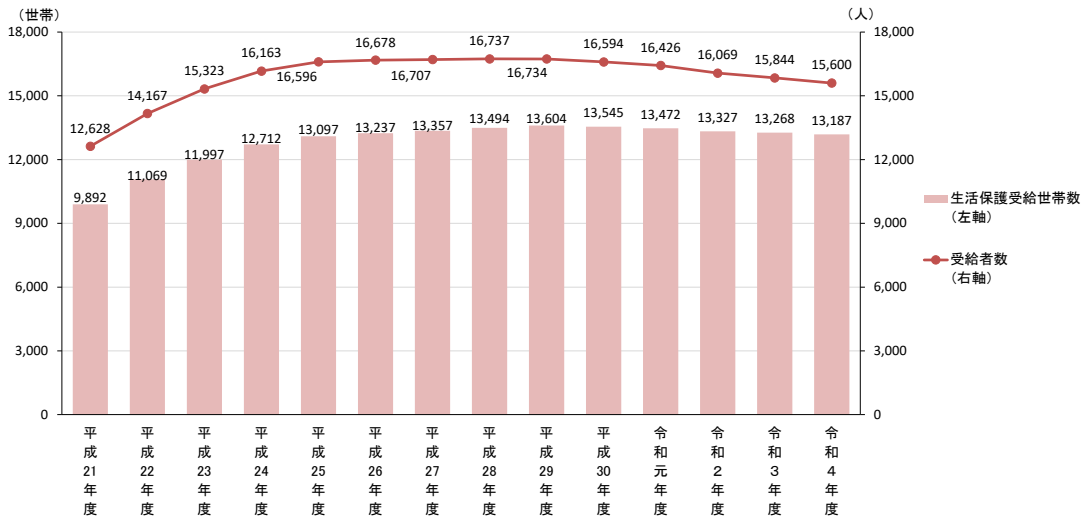
出典：総務省統計局「国勢調査結果」

## 生活保護・生活困窮に関する状況

### ★生活保護世帯数・受給者数の推移

生活保護受給世帯の数の推移をみると、平成29年度をピークに微減しており、直近の令和4年度には13,187世帯となっている。また、生活保護受給者数についても同時期から減少傾向にあり、令和4年度には15,600人となっている。

図17 大田区における生活保護世帯数・受給者数の推移



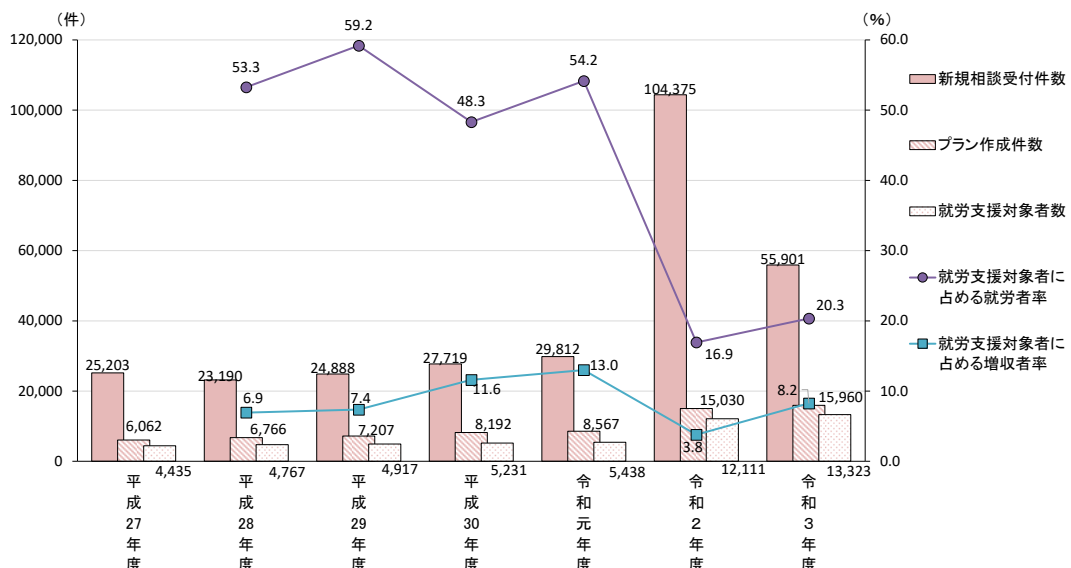
※各年度3月時点

出典:東京都福祉保健局「福祉・衛生行政統計 月報」

### ★生活困窮者自立支援制度における支援状況(東京都)

東京都による生活困窮者自立支援制度における支援状況の推移をみると、新規相談受付件数・プラン作成件数・就労支援対象者数いずれも令和元年度まで徐々に増加していたが、令和2年度に急増している。それに伴い、就労支援対象者に占める就労者率・増収者率は急落しており、直近の令和3年には就労者率は20.3%、増収者率は8.2%となっている。

図18 東京都の生活困窮者自立支援制度における支援状況の推移



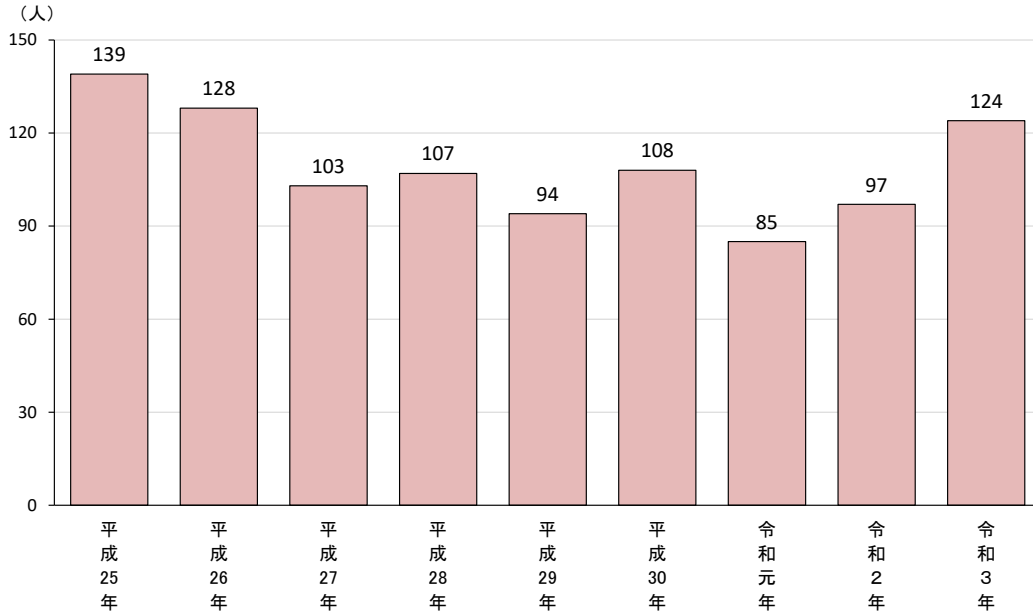
出典:厚生労働省「生活困窮者自立支援制度支援状況調査」

## その他の区民の状況

### ★自殺者数の推移

大田区における自殺者数の推移をみると、平成25年から平成31年までは概ね減少傾向が続いていたが、令和2～3年にかけて増加し、直近(令和3年)には124人となっている。

図19 大田区内の自殺者数の推移

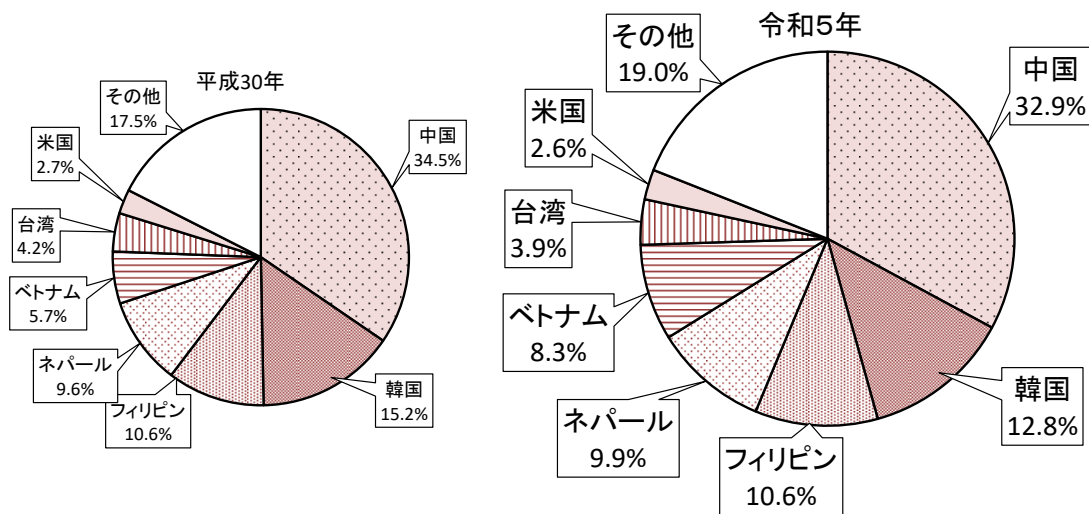


出典：東京都福祉保健局「人口動態統計」

### ★外国人人口の国籍・地域別内訳

大田区に在住する外国人について内訳をみると、令和5年にはベトナム出身の方の割合が若干上昇しているが、全体としては平成30年度と比べて大きな構成変化はない。

図20 大田区内の外国人の国籍・出身地域



※令和5年1月1日時点

※構成比が2.0%未満の国・地域については「その他」としてまとめた。

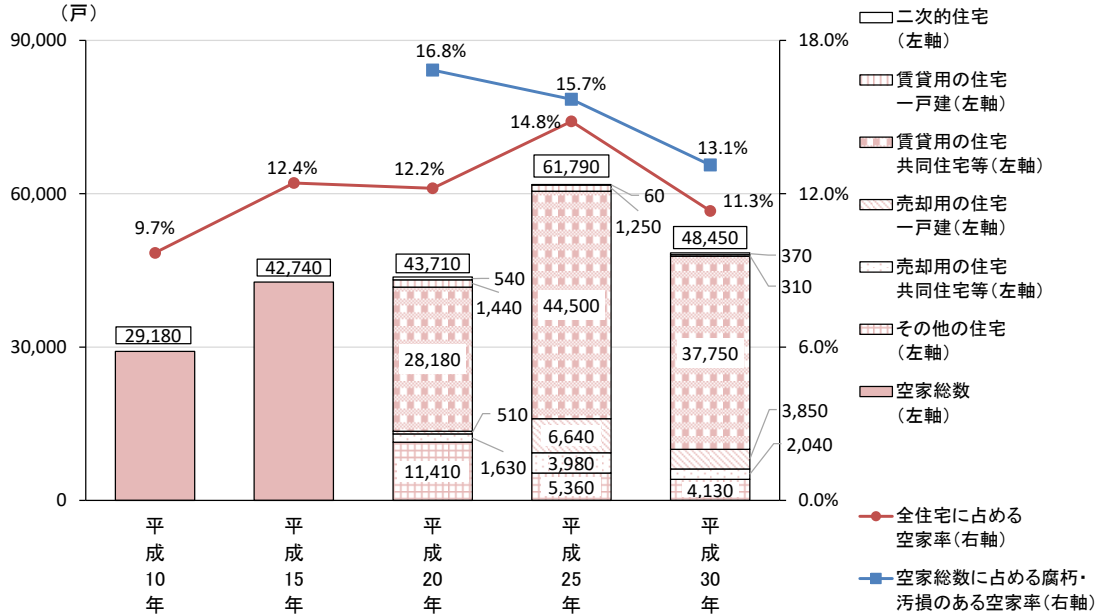
出典：東京都「外国人人口」

## コミュニティの状況

### ★空家数・率の推移

大田区内の空家の数の推移をみると、直近の平成30年には48,450戸あり、平成25年から減少しているが、長期的には増加傾向となっている。

図21 大田区内の種類別空家数と全住宅に占める空家率の推移



※各年10月1日時点

※「共同住宅等」は、「長屋建・共同住宅・その他」を指す。

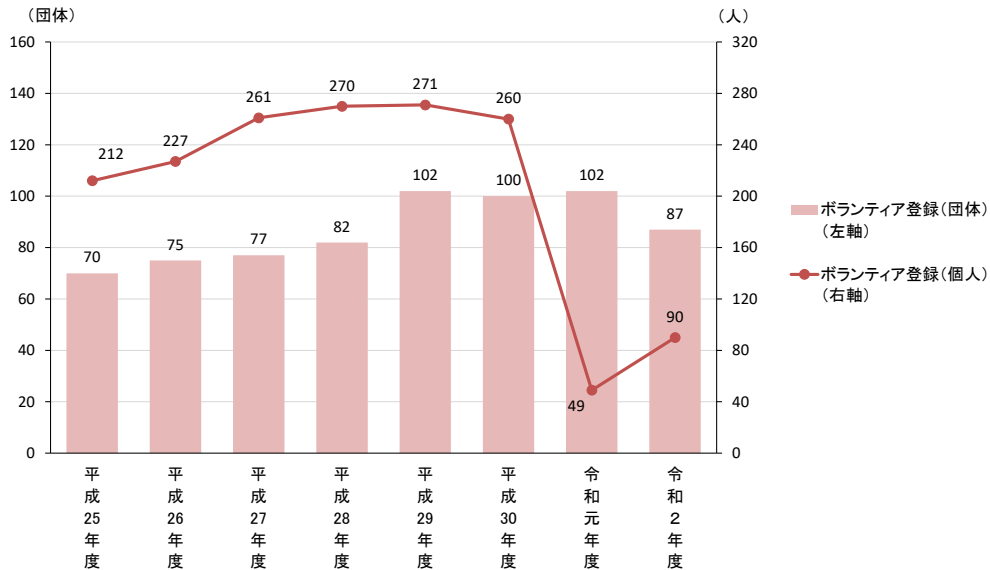
※空家の種類および腐朽・汚損のある空家については、平成20年以降のみデータが存在する。

出典：総務省統計局「住宅・土地統計調査結果」

### ★大田区社会福祉協議会のボランティア登録数

大田区におけるボランティア登録状況の推移をみると、団体・個人ともに増加傾向となっている。

図22 大田区のボランティア登録数の推移



※ボランティア登録(個人)については、令和元年度に活動実績の有無等による登録者名簿の整理を行ったため、一時的に減少している。

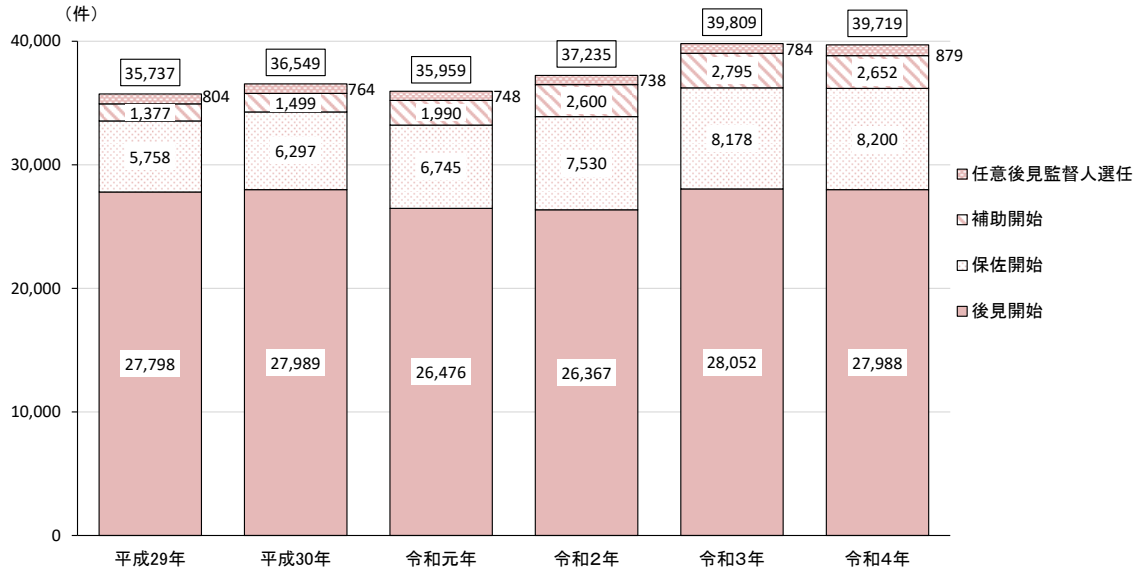
出典：大田区社会福祉協議会「平成30年度事業報告」、「令和元年度事業報告」、「令和2年度事業報告」

## 成年後見制度に関する状況

### ★補助・保佐・後見開始の審判の申立件数の推移(全国)

全国の成年後見関係の申立件数の推移をみると、平成29年以降、徐々に増加する傾向にある。内訳をみると、特に保佐開始・補助開始の件数が増えている。

図 23 全国の成年後見関係の申立件数の推移

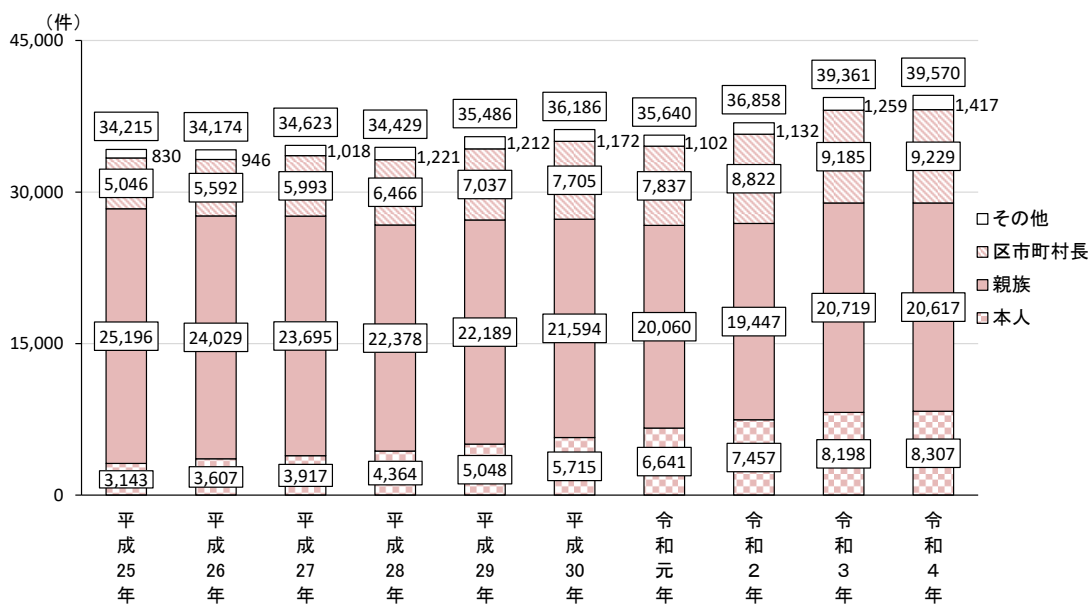


出典: 最高裁判所「成年後見関係事件の概況」

### ★申立人の属性(全国)

全国の成年後見の申立人と本人との関係についてみると、平成25年以降、親族による申立が増加している一方、本人・区市町村長による申立が増加しており、直近の令和4年には本人が8,307件、区市町村長が9,229件となっている。

図 24 全国の成年後見の申立人属性の推移



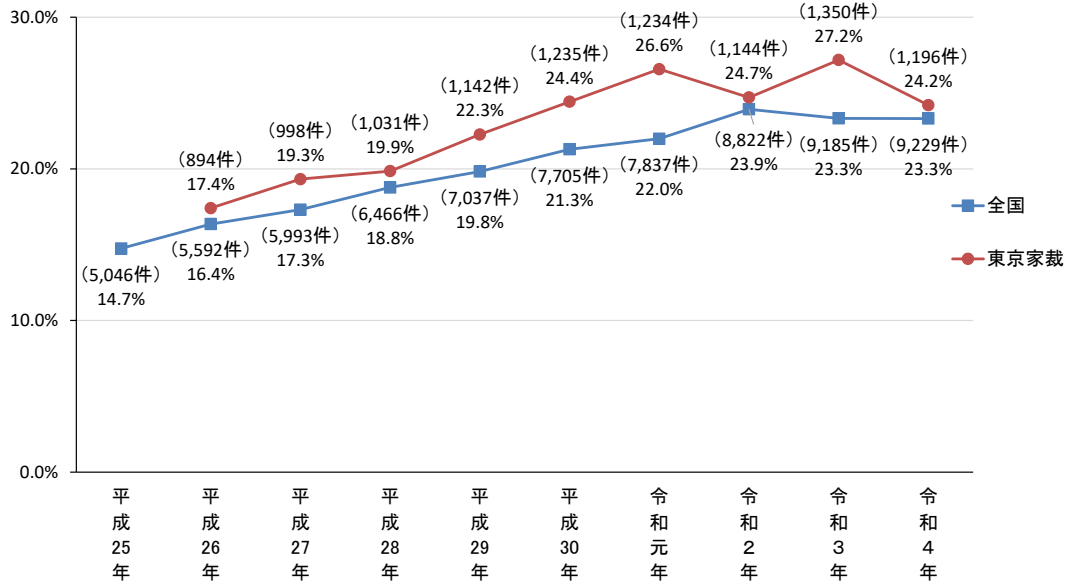
※申立があった事件のうち認容によって終局したものを母数とし、1件の事件につき複数の申立人が存在する場合があるため、各年の合計値は図23と一致しない。

出典: 最高裁判所「成年後見関係事件の概況」

★申立人に占める市区町村長の割合(全国・東京)

成年後見の申立人に占める市区町村長の割合の推移をみると、東京家庭裁判所管内では全国よりも高くなっており、直近の令和4年には東京家庭裁判所管内は24.2%となっている。

図 25 全国と東京家庭裁判所管内の成年後見の申立人に占める市区町村長の割合の推移

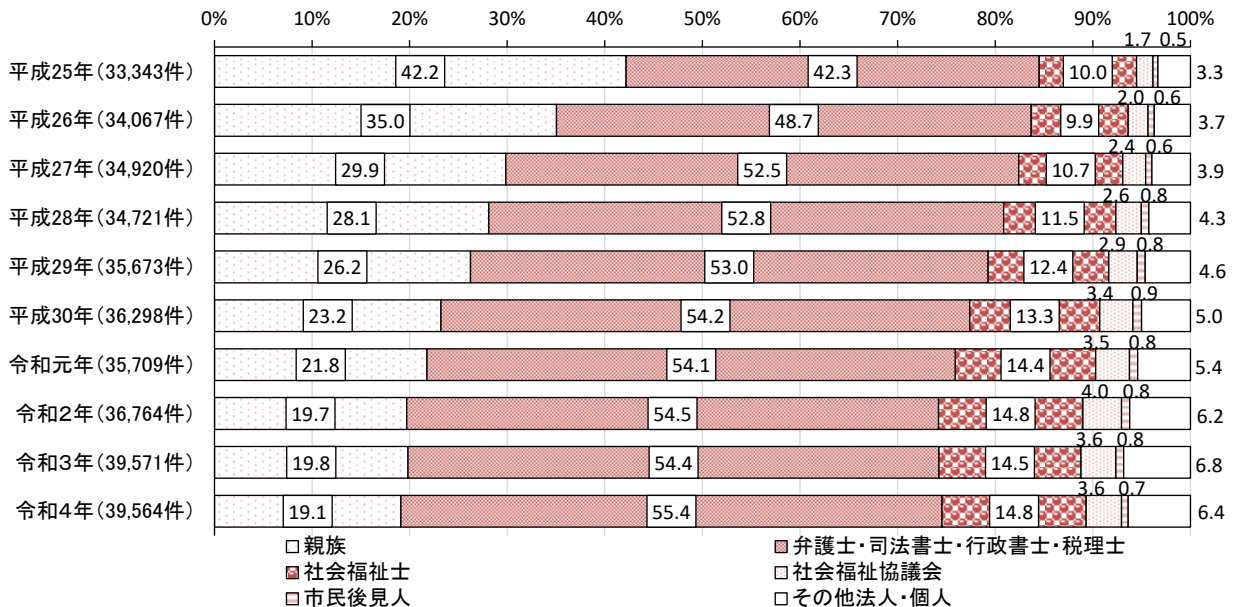


出典: 最高裁判所「成年後見関係事件の概況」

★成年後見人等受任者の属性(全国)

全国の成年後見人等受任者の属性の構成比の推移をみると、親族が占める割合は減少傾向となっており、直近の令和4年には19.1%となっている。

図 26 全国の成年後見受任者の属性構成比の推移



※申立があった事件のうち認容によって終局したものを母数とし、1件の事件につき複数の成年後見人等が存在する場合がありますため、各年の合計値は図 23・24 と一致しない。

※「弁護士・司法書士・行政書士・税理士」は、それぞれの法人も含む。

※「その他法人・個人」の集計に当たっては「精神保健福祉士」「社会保険労務士」を含めている。

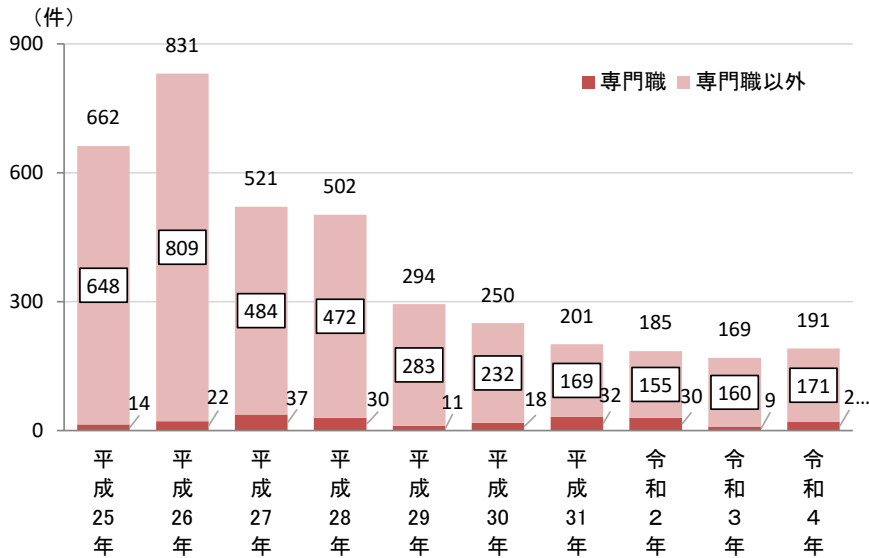
出典: 最高裁判所「成年後見関係事件の概況」



★成年後見人等による不正事例件数(全国)

全国の成年後見人等による不正事例件数の推移をみると、一定数の不正事例は残るものの、平成26年以降減少傾向にある。

図 27 全国の成年後見人等による不正事例件数の推移

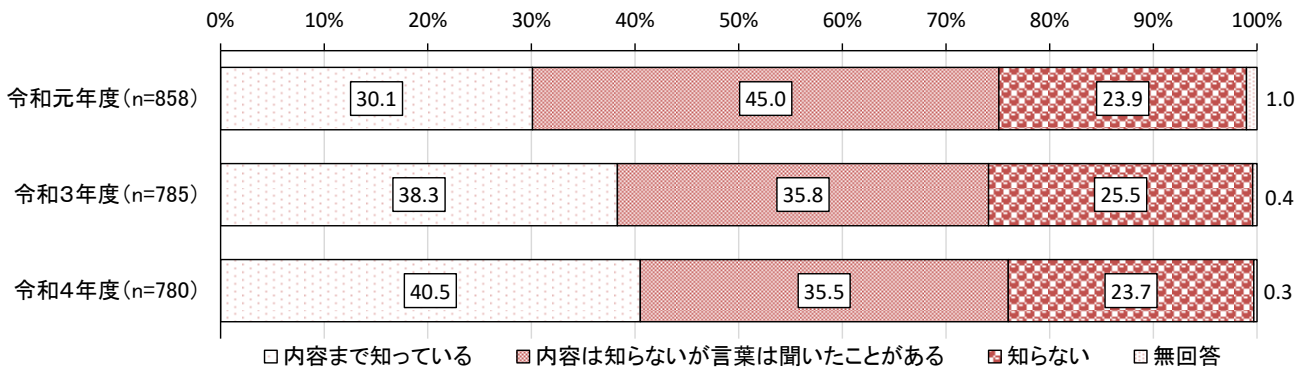


出典:裁判所ホームページ「後見人等による不正事例(平成23年から令和4年まで)」

★成年後見制度の認知度

大田区における成年後見制度の認知度をみると、「内容まで知っている」と回答した割合は年々上昇しており、直近の令和4年度には40.5%となっている。

図 28 大田区民の成年後見制度の認知度の推移



※令和元年度については「内容まで知っている」「聞いたことはある」「知らない」という選択肢で質問しているほか、同時に尋ねている制度・計画・施設については令和3・4年度調査とは異なっている。

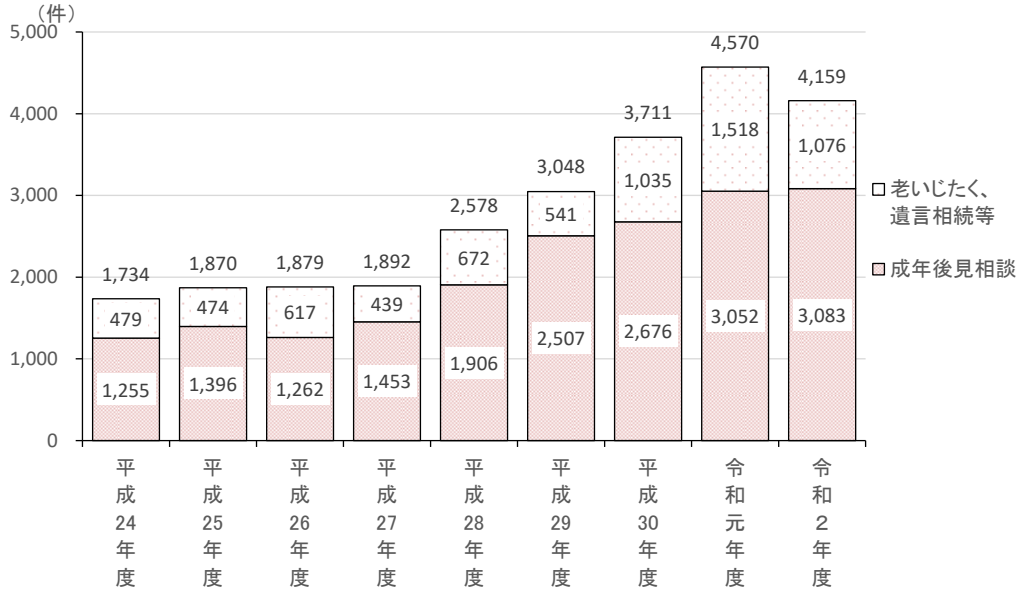
※令和2年度については該当する設問が存在しない。

出典:大田区「区の施策検証等に向けた区民意識調査」各年度調査結果報告書

★おた成年後見センターの相談件数の推移

おた成年後見センターで受け付けた相談の件数の推移をみると、相談の総数は令和元年度から令和2年度にかけて減少しているが、長期的には増加傾向となっている。内訳をみると、成年後見相談については直近の令和2年度には3,083件となっている。

図 29 おた成年後見センターの相談件数の推移



出典：大田区社会福祉協議会「平成30年度事業報告」、「令和2年度事業報告」